

「教育・子育て」について

受付月	題名	内容	回答要約	担当部
7月	子育て支援の手続きについて	<p>どうして子育て支援(児童手当など)の手続きは男山にある生活情報センターでできないのか。ひとり親家庭で毎日忙しく、市役所に行くのは大変。学校の修学支援金の手続きで課税証明書を出すのもセンターで出来ず不便。住民票などは出せるのにどうしてか。</p> <p>毎年更新する児童扶養手当の現況届も郵送可にしてほしい。</p>	<p>児童手当については、毎年6月にお願いしております現況届の申請など、可能なものについては、一部郵送による申請もお受けさせていただきます。</p> <p>児童扶養手当の現況届につきましては、受給者ごとに提出していただく書類が異なり、支給要件について窓口で確認しながら作成する資料もございますことから、原則、受給者本人による来庁をお願いしているところでございます。</p> <p>また、手続きに際しての書類には、家庭状況等の情報も含まれることから、直接担当課が受け取ることとしており、生活情報センターでは申請を受付できないことについてもご理解いただきたいと思っております。</p> <p>課税証明書につきましては、郵送でも請求していただくことができ、市のホームページにも証明書請求用紙を用意しております。</p> <p>また、マイナンバーカードを使用して課税証明書等を取得できるサービスについても、9月中の実施に向け準備作業をすすめているところです。</p>	福祉部
8月	図書館について	<p>図書館利用者の負担軽減について</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 他市町村から借りた本の返却も、返却ポストの利用を可能に。 2. 予約した本を美濃山コミュニティセンターでも受け取れるように。 3. 図書のリクエストカードを美濃山コミュニティセンターでも発行できるようにするか、HP上でリクエストできるように。 <p>HPで図書が手軽に検索予約できるようになっているが、さらに便利に負担軽減すれば図書館の利用価値、頻度が上がると思う。</p> <p>欽明台地区は2つある図書館より遠方で人口も増え、第3の図書館の要望が出ている。財政状況等から困難である代わりにより便利に図書が利用できるようお願いしたい。</p>	<p>図書館資料の他館からの借用に分ついては、従来より図書館窓口へのご返却をお願いしております。</p> <p>予約した図書の受取りについては、図書館又は自動車文庫のご利用をお願いしております。自動車文庫の巡回については、市内全域を巡回しているため、一つの巡回場所で停車している時間も30分という限られたものであり、ご不便をおかけしておりますが、ご理解をいただきたいと存じます。</p> <p>図書のリクエストについては、リクエストカードの提出、電話での申し込みやホームページから予約ができますが、蔵書していない図書等につきましては、リクエストカードの提出か電話での申し込みでお願いいたします。</p> <p>今回のご提案を貴重な意見として、市民の方の図書館利用の利便性を検討していきたいと考えております。</p>	教育部
9月	読書通帳の図書館での導入について	<p>読書通帳とは、銀行の預金通帳と似た冊子で、借りた本の記録を印字して残せる図書館専用の通帳のこと。図書館に「読書通帳」というATMのような専用端末を設置し、借りた本の情報がそこに転送される。利用者がその端末に読書通帳を入れ、本のタイトルや貸出日が印字される仕組み。</p> <p>読書の履歴が貯金のように「たまっていく」ことで子どもの達成感にもつながる読書通帳。現在は全国13市町で導入されており、八幡市でも導入してはどうか。</p>	<p>読書通帳の導入については、本システムは利用者の貸出情報を一定期間保存しておくことが必要です。本市では、個人情報保護の観点から貸出情報はその履歴をいつまでも持たないシステムとしていることから、現段階での導入は考えておりませんが、情報収集し調査研究してまいりたいと考えております。</p>	教育部

「教育・子育て」について

受付月	題名	内容	回答要約	担当部
12月	中学校について	欽明台、美濃山付近に中学校を作っ てほしい。遠すぎる。	<p>男山東中学校は、昭和50年代後半から欽明台及び美濃山地域が開発され人口増加が見込まれるため、昭和61年に男山第二中学校から分離し、新設しました。</p> <p>その後、平成18年に人口減少等の社会環境が大きく変化し、中長期的な展望に立った学校施設の在り方について、将来の児童生徒数の動向や通学距離、地域コミュニティ等を勘案して11小学校を8小学校にする統合と通学区域を見直す学校再編整備計画を策定しました。これにより、男山東中学校の通学区域は、有都小学校の通学区域となる東部に位置する戸津及び内里、上奈良、上津屋、野尻、岩田地区と美濃山小学校の通学区域の美濃山及び欽明台地区になっており、人口等を配慮した結果、男山東中学校はこれらの地域のほぼ中間点に位置しています。</p> <p>欽明台、美濃山付近での中学校新設につきましては、本市の財政状況では困難な状況です。</p>	教育部